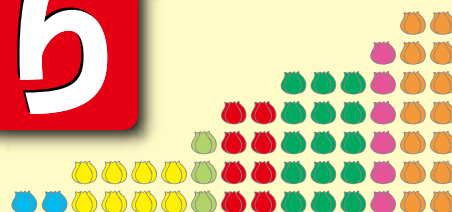


# えびの 市議会だより



加久藤小学校入学式（4月10日） 式を終えた教室で

主な  
内容

## 平成25年度の一般会計予算（追加補正後）は

総額	102億2,438万円	.....	P 2～3
一般質問（登壇12人）		.....	P 4～9
常任委員会での審査内容		.....	P 10～13
市議会中継を6月本格運用開始		.....	P 15
表決が割れた議案等の各議員の表決		.....	P 16

# 平成25年度の一般会計予算(追加補正後)は

# 総額 102億2,438万円

3月  
定例会

国民健康保険特別会計予算は	総額 36億7,078万円
後期高齢者医療特別会計予算は	総額 6億2,520万円
介護保険特別会計予算(保険事業勘定)は	総額 27億8,226万円
(介護サービス事業勘定)は	総額 2,261万円
観光特別会計予算は	総額 3,047万円
水道事業会計予算(資本的支出:含む減額補正後)は	総額 1億6,916万円
病院事業会計予算(資本的支出)は	総額 3,368万円

**25年度当初予算101億8700万円に追加補正**  
加久藤橋架け替え事業、国の緊急経済対策など3738万円

**24年度予算に緊急経済対策関連事業費を追加**  
県営事業負担金(24年度実施)、道路ストック点検事業(繰越25年度)に3530万円

平成25年3月定例会は、3月6日から3月26日までの21日間開催し、諮問1件、議案49件、請願1件、陳情2件、議員提出議案等2件を審議。審議結果は次項の審議結果表のとおりです。

## ●平成25年度一般会計予算

新年度の一般会計当初予算101億8700万円は、前年度当初予算に比べ3億3900万円減(同3.2%減)となりました。

この当初予算に、国の緊急経済対策に伴う企業支援型地域雇用創出事業3369万円、加久藤橋架け替え概略設計業務1330万円の増額及び退職手当条例改正に伴う退職金960万円を減額補正したことから、補正後の平成25年度予算は上記のとおりとなります。

歳入は、前年度と比べ(以下同じ)市税が1256万円減、国庫支出金が1億8535万円減となり、県支出金が5910万円増

基金からの繰入金金が8718万円増となりました。地方債(市債)は1億3285万円減となります。

歳出の主な事業は、肉用牛繁殖経営増頭対策事業900万円、観光情報発信事業1403万円など

①経済活性化枠事業(20件)に1億4163万円。消防団員の各種災害出動等に伴う費用弁償の改正300万円、原田地区排水対策事業850万円など②安心・安全対策枠事業(16件)に6270万円。自治会連絡協議会補助金178万円など③自治組織の活性化に2492万円。④このほか高齢者交流センター建設事業482万円、スーパードライヤー制度導入事業37万円、島内地下式横穴墓群周辺整備事業1291万円、相撲道場新築事業137万円などです。(詳細は10ページから13ページ参照)

## ●平成24年度一般会計予算の補正

歳入歳出にそれぞれ2億8125万円を減額し、総額は1112億5799万円となりました。主に年度内事業の確定に伴う歳入歳出予算の減額のほか、国の経済対策に伴う増額補正3530万円及び特別交付税の決定による2億7740万円を増額補正したものです。これに伴い歳入では基金繰入金を4億1240万円繰り戻し、歳出の公共施設等整備基金費を1億811万円増額しました。また、飯野小学校プール改修事業と追加した道路ストック点検事業は新たに25年度に繰越し、実施します。

<p><b>【人事案件】</b></p> <p><b>人権擁護委員候補者の推薦</b> 佐世かず子さん</p> <p><b>監査委員の選任</b> 山口 文夫さん</p> <p><b>公平委員会委員の選任</b> 堀川 純一さん</p>
--

# 3月定例会における議案等の審議結果

会期3月6日～26日（21日間）

## 1. 議案等

番号	件名	審議結果
報告第 1号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—
諮問第 1号	人権擁護委員候補者の推薦について	別段異議はない
議案第 2号	監査委員の選任について	同意
議案第 3号	公平委員会の委員の選任について	同意
議案第 4号	西諸地域介護認定審査会共同設置規約の一部変更について	原案可決
議案第 5号	えびの市障害者計画の策定について	原案可決
議案第 6号	第2期えびの市国民健康保険特定健康診査等実施計画の策定について	原案可決
議案第 7号	第2次健康日本21えびの市計画の策定について	原案可決
議案第 8号	えびの市市民活動支援センター条例の制定について	原案可決
議案第 9号	えびの市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	原案可決
議案第 10号	えびの市道の構造の技術的基準及び道路標識の寸法を定める条例の制定について	原案可決
議案第 11号	えびの市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第 12号	えびの市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第 13号	えびの市都市公園、公園施設及び特定公園施設の設置の基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第 14号	えびの市営住宅の整備基準に関する条例の制定について	原案可決
議案第 15号	えびの市国際交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 16号	えびの市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 17号	えびの市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 18号	えびの市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 19号	えびの市環境基本条例の一部改正について	原案可決
議案第 20号	えびの市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 21号	えびの市暴力団排除条例の一部改正について	原案可決
議案第 22号	えびの市アバンダントしらとり郷土の森の保護及び利用に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 23号	えびの市道路占用料条例の一部改正について	原案可決
議案第 24号	えびの市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 25号	えびの市小集落改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 26号	えびの市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 27号	えびの市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 28号	えびの市立病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第 29号	市道の路線廃止について	原案可決
議案第 30号	市道の路線認定について	原案可決
議案第 31号	平成24年度えびの市一般会計予算の補正（第8号）について	原案可決
議案第 32号	平成24年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正（第4号）について	原案可決
議案第 33号	平成24年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正（第3号）について	原案可決
議案第 34号	平成24年度えびの市介護保険特別会計予算の補正（第4号）について	原案可決
議案第 35号	平成24年度えびの市観光特別会計予算の補正（第4号）について	原案可決
議案第 36号	平成24年度えびの市水道事業会計予算の補正（第3号）について	原案可決
議案第 37号	平成24年度えびの市病院事業会計予算の補正（第2号）について	原案可決
議案第 38号	平成25年度えびの市一般会計予算について	原案可決（賛12：反1）
議案第 39号	平成25年度えびの市国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第 40号	平成25年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第 41号	平成25年度えびの市介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第 42号	平成25年度えびの市観光特別会計予算について	原案可決
議案第 43号	平成25年度えびの市水道事業会計予算について	原案可決
議案第 44号	平成25年度えびの市病院事業会計予算について	原案可決
議案第 45号	えびの市一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例等の一部改正について	原案可決（賛12：反1）
議案第 46号	平成24年度えびの市一般会計予算の補正（第9号）について	原案可決
議案第 47号	平成24年度えびの市水道事業会計予算の補正（第4号）について	原案可決
議案第 48号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正（第1号）について	原案可決（賛12：反1）
議案第 49号	平成25年度えびの市水道事業会計予算の補正（第1号）について	原案可決
議案第 50号	平成24年度えびの市一般会計予算の補正（第10号）について	原案可決

## 2. 請願・陳情

番号	件名	審議結果
請願第 9号	年金2.5%の削減中止を求める請願	継続審査
陳情第 16号	えびの市前田小岡丸地区圃場整備事業に関する陳情書	不採択（賛1：反12）
陳情第 17号	県道京町小林線を早急に現道拡幅改良で着工することを求める陳情書	継続審査

## 3. 議員提出議案等

番号	件名	審議結果
議員提出意見書案第1号	環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉参加に反対する意見書（案）	原案可決（賛13：反1）
委員会提出議案第1号	えびの市議会委員会条例の一部改正について	原案可決

# 一般質問

3月定例会では12人の議員が一般質問に登壇しました。議員自らでまとめた質問答弁概要を掲載します。

## 市立病院の改善策を示せ 内科医1人増員



栗下 政雄  
議員

**質問** 平成23年度で1億4368万6千円、平成24年度で1億5340万3千円を、一般会計から繰り出している。先の12月議会でも指摘したが、市長はどのように対処したか。また、病院事業検討委員会は、病院事業会計の赤字運営について、どのような審議をしているのか。

**市長** 病院運営については、一般会計に頼ることのない独立採算の財政運営が原則であると考えている。今後の病院運営については、これまで以上に入院収益・外来収益の増収対策や経費削減など様々



経営改善が望まれる市立病院

な取り組みを実施し、収支改善の成果を上げるための経営努力を行い、できるだけ一般会計の補助金等に頼ることのない病院運営に努める。また、県より平成25年4月から内科医師を派遣していただくので、経営環境が改善できるので

## バスよりタクシー



宮崎 和宏  
議員

**質問** コミュニティバスの実験運行の結果は、非常に利用者が少なかった。原因はいろいろあると思うが、これからの取組みはどのようにするのか。

**市長** いろいろ原因があると思うので検討、協議していく。

**質問** バスでは市内全域を巡回するのはできないと思うので、バスより福祉タクシーの利用の拡大をした方が良くと思う。

**市長** 福祉タクシーは、利用者が限定されるので、バス、タクシーの両面から検討していく。

**質問** 国は昨年4月から国家公

はないかと期待している。

**副市長** 院内で改革プロジェクトチームを立ち上げ、具体的な改善策を引き続き検討していくこととした。

務員の給与を7・8%引き下げた。これを受けて総務省は地方公務員も国に合わせてように指導をしている。えびの市は、国家公務員の平均給与より4・8%高い。市長はどのように考えているのか。

**市長** 今回は国が一方的に財源確保のため、地方に押し付けているのには納得がいかない。

**質問** 市の財政力から見ると国に合わせるように努力すべきと思う。仮に4・8%引き下げた場合の給与額はいくらになるのか。

**課長** 総額24億2264万で4・8%引き下げた場合、1億円の減額になると思う。



# 道の駅について



西原 義文  
議員

**質問** 道の駅に対する思いと今後の在り方について市長の考えは。

**市長** 交流人口増の基盤となり市民の色々な表現ができる場と農業所得増、観光振興の拠点とし、情報発信を行い、大きな成果が出るように取り組む。

**質問** 今後、道の駅のえびの市での位置づけは、どのように考えるか。

**市長** 市が保有している公共施設だが、民間の活力を利用し農業の振興と起爆剤になるように頑張る。

**質問** オープンセレモニーで市外へのアピールをどのようにするか。

**観光商工課長** テレビCMを使い鹿児島、宮崎のローカル番組でオープン前後一週間、ラジオCMで3日間コマースィアルを行う。



グランドオープンを待つ道の駅えびの

ホームページ等でも広報し、宮日新聞でもオープン当日全15段を使いPRしていく。九州全体ではじやらんという雑誌で広報し、熊本県ではタウン情報誌に掲載を予定している。

**質問** 山麓線に看板が必要だ。  
**観光商工課長** 看板の設置などは、必要に応じて協議し設置していきたい。

# 市長の政治姿勢について



竹中 雪宏  
議員

**質問** 今回、国が示した15ヶ月予算は、100兆円を上回る規模で、日本経済再生に向けた緊急経済対策予算の骨子が発表された。過疎化が進んでいる地域は大変な難しい予算措置と感じているが、本市発展のためにどのような事業に取組む考えであるか伺う。

**市長** 緊急経済対策予算に期待を致しており、現在7事業について計画しているので、できるだけ国の財源を引き出して、えびの市の公共事業に使えるよう今後とも努力していく。

**質問** 本市の基幹産業である農業の中で畜産部門の情勢は戸数・頭数ともに減少し、大変厳しい経営状況である。このままでは畜産農家のみならず商業・工業分野まで悪影響を及ぼすことも懸念される。従って、この厳しい畜産情勢を乗り切るために、生産意欲と増

頭対策に繋がる支援対策を示せ。

**市長** 畜産関係は、前年度に比較して、4300万円程度増額となる積極的な予算組みを行った。主なものは、増頭対策・貸付牛の単価の増額や頭数の拡大・導入に対する経費助成の拡充・安定基金掛金の一部助成などである。



農家戸数や飼養頭数の減少が著しい養豚経営

# 防災対策について



北園 一正  
議員

**質問** えびの市地域防災計画が、災害対策基本法に基づき策定されている。市民の安心安全を守り防災に万全を期するためには、災害が発生した時点でその災害に即応した対策が必要である。次の件についての対策を伺う。

亀沢柳水流地区は豪雨時期には、国道268号線が浸水のため度々通行止めとなり、最寄りの避難所「真幸地区体育館」への避難ができなくなる。対策をどうするか。

**危機管理対策監** 台風や豪雨時の避難経路、避難体制を確認するため、今年の豪雨時期前に、両地区で災害避難図上訓練を行い対策をとっていく。

**質問** 加久藤麓地区は、地区内の内鶴川の浸水被害があるので、自主防災組織を立ち上げ毎年防災訓練を実施している。浸水被害の



災害で冠水した国道268号線

防止対策をどうするか。

**課長** 内鶴川を平成25年～27年の3ヶ年計画で整備する。

**質問** 内鶴川と川内川の合流点の排水樋門の整備が必要である。国土交通省へ要望できないか。

**市長** 加久藤麓地区の浸水被害防止のため樋門の整備は必要である。国土交通省に要望していく。

# 財政健全化を



高牟禮 宏邦  
議員

**質問** 平成25年度施政方針・予算編成で、市長が最優先的に指示された項目は何か。

**市長** 総合計画を基本に創意工夫による効果効率的な事業を実施。地域経済の活性化、安心安全の確保、自治組織の活性化を最重要課題に位置付け重点対策に対し予算化した。畜産業振興対策等、市民所得向上に取り組んでいく。

**質問** 市の財政の経常収支比率92%は県下でも最低に位置し厳しい状況にある。自主財源は31・1%、依存財源68・9%、市債は減少しているが、財調基金約7億6千万円などの基金取り崩しで安易な予算編成がなされている。今後予想される災害等を考慮すると厳しく指摘せざるを得ない。

**市長** 国の交付税や補助金が毎年度減額されてきている。予算執

行で慎重に対応して最大の効果を得るよう努力する。

**質問** 福祉施設に対して条件付寄附がなされ建設計画がなされているが、現在の施設を検討して統合含めて再検討の必要はないか。

**市長** 寄附者の意向を尊重し、検討できる部分があれば検討する。



## 行政運営の量的・質的变化に応じた職員体制に



池田 孝一  
議員

**質問** 現行の職員の年齢構成等に大きなゆがみが生じ、様々な矛盾や行政執行上の問題が生じていると指摘した際、市長は市の組織機構の改革に併せて職員数（300人体制）を検証すると約束しながら、しなかった。

**市長** 人員管理はするが、全ての事務量を何人の人員でできるかは検証の方法が難しい。

**質問** 根拠のない職員数300人に固執する余り、正規職員がすべき事務を非正規の嘱託員や臨時職員でせざるを得ないのではないか。特に、この4年間で嘱託職員は58人から82人に増えている。

**市長** 現時点では、職員でなくともできることをしている。

**質問** このことは、職員の育成・能力向上を阻害することにならないのか。

**市長** 確かに職員の育成など將



来的に薄くなる可能性がある。

**質問** 経験や技能豊かな職員が今後3年間で大量に退職する。300人体制に固執する限り、こうした力も継承・蓄積されない。

**市長** 市民サービスが低下しないよう、経験や技能の継承の研修と慎重な検討をしていく。

## 排水路整備を早急に



外園 三千男  
議員

**質問** 県道原田杉水流線の市営御仕立山団地周辺の排水路整備は。

**建設課長** 平成25年度に実施設計をするが、全体事業費がどの程度かかるか、水路延長が長いので補助事業でできないのか検討中である。排水整備事業が何年度で終わるのか明言できないが、緊急を要する課題と認識している。

**質問** 周辺の排水が悪い中、福祉施設の建設が予定されているが、建設予定地は最適であったのか。

**長寿介護課長** 場所の選定は市側はまったく行っていない。市内であればどこでもいいということ、申請された用地を第一候補として挙げられたと認識している。あとは建設予定者が別の場所に造られるかは施設側の判断である。「市が工事をしなさい」と選定し

たものではない。

**副市長** 施設建設にあたっては、地域住民の納得が必要で県への意見書提出も地域住民の理解が得られた後になる。

**質問** 胃がん検診にピロリ菌検査を入れる市町村が県内にある。

**健康保健課長** システム構築もあるが医師会、健康づくり協会、関係機関と協議をする。



排水対策が急がれる原田排水路

# 農家民泊への支援強化を



松窪 ミツエ  
議員

**質問** えびの市・小林市・高原町の2市1町の農家で構成する、農家民泊の「北きりしま田舎物語推進協議会」が、平成24年に事務局存続の支援を要請している。首長間での協議は行われたのか。

**市長** 首長三人で協議した。小林市長が、小林市に事務局があるので24年度の予算は小林市でまかなうという返事をいただいていたもの。今後は定住自立圏構想の中で結論が出るかと考えている。

**質問** 平成25年度は、本市11軒で165人の農家民泊修学旅行者を受け入れる。市民の自主的な活動に対し、地域経済の活性化と交流人口の増を目指す市長としての見解は。



上大河平で受け入れている農家民泊のようす

**市長** 農家民泊の皆さんはグリーンネット学舎にも加盟しているが、ここでの支援は難しい。しかし、農家民泊への支援と普及には強い思いがある。

**質問** 農家民泊の皆さんの本気度、意欲を支援することはまちを活性化へと導くと考えるが。

**市長** 定住自立圏構想ビジョン策定の中で、農家民泊グリーンツーリズム推進事業についての結論が早い時期に出ると思っている。

# 安心安全の確保を



上原 康雄  
議員

**質問** 2月は家畜防疫強化月間であった。他の市町村と比べるとえびの市の取り組みが不十分であった。市長の家畜防疫に対する意識が低いのではないのか。

**市長** 2月の家畜防疫強化月間の市としての対応は不十分な面があった。今後さらなる家畜防疫の強化を図るために関係機関と十分協議し努力していく。

**質問** 岐阜県の小学校で樹木の枯れ枝が落ちて低学年の頭を直撃し意識不明の重大事故が発生した。12月議会でも市内の小中学校の樹木の安全の確保について質問した。市長は安全性の確保が一番大事なことだと思ふ。教育委員会と一緒に検討し予算化についても前向きに考えていきたいと答弁された。その後の取り組みは。

**学校教育課長** 樹木の安全確保については、現場を十分に確認し、

早急な対応を要する樹木については、伐採等の対策を行った。何よりも子どもの安全が第一であり、新年度予算にも特に例年のない予算を計上した。



市役所に設置している防疫啓発カンバン



# 市長は国に声を上げよ



西原 政文  
議員

**質問** 市だけでは、国民健康保険の抜本的解決は出来ないと考ええる。国の負担は当初45%、現在は32%となっている。国に対して補助率を引き上げるように機会あるごとに声を上げるべきだ。

**市長** 収納率向上を図りながら国庫負担を引き上げるよう、国に対して要望していく。

**質問** 西境川の水門の問題点を指摘し、ポンプの設置を提案してきた。市長はポンプを設置するために動いて頂きたい。

**市長** 移動式ポンプを1台国土交通省から借りる。国は、様子を見たいと言うが、ポンプの設置を要望していく。

**質問** 市民の健康を守ることが重要だ。国も子育て支援を進めるというが、税制面で扶養控除を撤廃するなど増税になっている。今後少子化が進む事が予想されるが



さらに排水ポンプ設置が望まれる西境川水門

安心して子育ての出来る環境作りを市長はどのように責任を果たすのか。

**市長** 少子化対策は、一番注視しなければならぬと考える。今後少子化対策につながる新たな政策も検討し、子育て世代への支援と負担軽減を進めなければならぬと考える。

# 財産管理について



井川原 志庫男  
議員

**質問** 平成21年6月議会において南木場の旧慣地の管理について市長の総合調整権の発動について質問をした。その際、指導管理をするという事であったがどのように整理したか。

**財政課長** 総合調整権は発動していない。組合員の状況調査をしているところだが回答がない。

**質問** 民法238条6の関係について、旧慣の使用権は市町村住民に認められた特別な権利であるが入合権の権利については、死亡や他の市町村に転出した場合や長年採草しなくなった場合は、旧慣は消滅したものとなり、旧慣使用権も消滅する事になるとなっているがどのように整理されるのか。

**市長** 市は当然市有地の管理者であり、実態について把握しなければならぬ。管理についての指導もしている。今現在は組合から

の報告はないが、今後調整をさせて頂きたいと思っている。

**質問** 南木場の牧野について開発の話もあると聞くが、もし開発されれば補償費等の問題が出て来る。どのように対応するのか。

**市長** 組合と話し合いを持ち、きちんと整理をして行く。



市有地として所有する「南木場採草地」

# 議案等の 審査

## 総務教育常任委員会報告

総務教育常任委員会で、審査した主なものを抜粋して報告します。

### 新規事業について

Q…新設する市民活動センターの目的は何か。

A…活動拠点となる事務所を持たないNPO法人等の市民活動団体が、市民活動の連携の場所として活用できるように設置するもの。

Q…平成25年度から、区の組織が自治会制度に変わる。行政事務連絡員報酬は従来の区長・

分区長に支払われるのか。

A…旧区長は、自治会長となり、行政事務連絡員として報酬を支払う。旧分区長は、班長となり行政事務協力報償金を支払う。予算は合わせて3851万円。



市民活動の拠点施設ともなる国際交流センター

Q…高齢者免許証自主返納促進事業（予算117万円）の内容はどのようなものか。

A…高齢者の交通事故防止を図るため、警察署への高齢者の免許証自主返納を支援するもので、内容は次のとおり。

① 運転経歴証明書交付手数料

1000円を助成。（身分証明書等として利用できます）。

② 自主返納者にタクシー利用券を交付。（一人当たり初乗り料金560円券を年間24枚1万3340円分交付。）



免許証の自主返納で高齢者の事故防止を

### 市長選挙・市議会議員選挙

Q…市長選挙と市議会議員選挙が今秋行われる予定だが、選挙費用はどのようになっているか。

A…市長・市議会議員選挙を同時選挙として、予算計上した（予算4101万円）。

### コミュニティバスについて

Q…コミュニティバスはいつから運行するのか。

A…平成24年度実証実験運行を行った東部地区は、今年10月から本格運行を開始予定。東部地区以外の西部地区は、同じく10月から実証実験運行を行う。市内全域の本格運行は平成26年度からの予定である。

### 教育行政について

Q…スーパーティーチャー制度の導入について内容を伺う。

A…教職員の授業力向上と児童生徒の学力向上を図るため、

スーパーティーチャーによる、公開授業・講義・実技研修等を行う制度である。スーパーティーチャーは児童生徒の成績を参考に、教科別に実績のある教師を校長と教育委員会が協議して選任する。

## 上水道事業について

**Q**…公営企業である水道事業の平成25年度事業計画はどうか。

**A**…事業予定量は次のとおり。

- ①給水戸数…8553戸
- ②1日平均給水量…5403m<sup>3</sup>
- ③事業収入…3億2006万円
- ④事業費用…3億1966万円

**Q**…簡易水道統合整備事業の計画について説明を求めます。

**A**…東出水地区簡易水道を市上水道に統合する事業で、平成24年度の国庫補助事業で実施する。完成後、東出水地区ほか、約50戸に給水する計画。(25年度に繰越事業で実施)  
 ・事業費…2億1064万円  
 ・繰越事業額…1億3694万円



東出水地区と同じ簡易水道統合事業で完成した尾八重野地区の中継ポンプ場

・市負担金…1億388万円

## 市立病院事業について

**Q**…経営が厳しい状況にある病院事業の25年度事業計画はどうか。

**A**…事業予定量は次のとおり。

- ①病床数…50床
- ②年間患者数…入院11998人。外来37209人。
- ③事業収益…9億1683万円
- ④事業費用…9億8986万円
- ⑤赤字分は流動資産の現金預金が減少する見込み。



25年度から医師5名の診療体制となる市立病院

⑥医師4名体制での収支で計画している。

**Q**…病院経営の基本となる、医師確保の今後の状況はどうか。

**A**…年度当初に、内科医師1名増員でき、医師5名体制での診療

療体制が取れそうだ。病院経営、市民サービスが改善されるように努力する。

総務教育常任委員長

北園 一正

# 議案等の 審査

## 産業厚生常任委員会報告

産業厚生常任委員会で審査した  
主なものを抜粋して報告します。

### ① 第2次健康日本21えびの 市計画の策定について

平成25年度から10ヶ年の計画として、これまでの取組み評価や新たな健康課題を踏まえ策定されるものです。計画の内容は、「栄養編」、「運動編」、「休養編」の3つの柱で構成されていた第1次計画に、新たに「健診編」を第1段階として加えたものです。この健診編を加えることで、健診結果から、自分の生活習慣を栄養・運動・休養の二つの要素を振り返り、日常生活の見直しや改善につなげていくものです。



「健診」は健康づくりの重要な4要素の1つです

### ② えびの市特別職の職員で 非常勤のものの報酬及び 費用弁償に関する条例の 一部改正について

福祉事務所に家庭相談員が現在2名配置されており、相談件数が年々増加してきていることから、相談体制の充実・強化を図ることを目的に、現在の勤務日数の増と

報酬月額を増額するものです。  
Q…具体的な改正の内容は。  
A…勤務日数を月15日以内から月18日以内に改め、これに伴い、報酬月額を9万7千円から11万6千円に改正するものです。

### ③ 市道の路線廃止及び 路線認定について

新たに市道の路線を認定することに伴い、接続する市道の供用区間の変更が生じたため、路線を廃止すると共に、新たに市道路線の認定の基準に基づき、集落と集落とを連絡する主要な道路として路線を認定するものであります。  
Q…廃止路線名及び認定路線名は。

A…廃止路線は、横道六本原線と芋畑轟口線であり、認定路線は六本原4号線、有島上大河平線、芋畑轟口線、えびの北



認定された市道有島上大河平線

部1号線、えびの北部2号線です。

### ④ 平成24年度一般会計 補正予算関係

Q…総合農政推進対策費国庫補助金の青年就農給付金事業の、取組みの実績はどのようになっているか。

A…申請者10名のうち5名は給付対象となったが、残りの5名は農地の所有権を確保できなかった等の理由により、対象にならなかった。なお、対象



青年就農給付金事業で建設されたハウス

者の経営内容は、ネギとホウレンソウ、いちご、ニンニクとしようが、養豚、ミニトマト等の経営形態となっていない。

**Q**…福祉タクシー料金給付金の給付条件が緩和されたにもかかわらず、500万円の減額となった原因は何か。

**A**…75歳以上の免許証所持者の割合が高いことや寝たきりで介護を受ける方の増加等が大きな要因と分析している。

### ⑤平成25年度一般会計 予算関係

**Q**…高齢者交流センター建設事業の建設場所の選定理由は。

**A**…寄付者側から丸正の事業所がある飯野地区に建設していたいただきたいとの要望を受け、飯野小学校を選定した。

**Q**…地域おこし協力隊を活用したえびの高原山ガール化活動は、どのような内容か。

**A**…都会的な感覚を持った地域おこし協力隊を活用して、山登りをファッショ的に楽しむ若い女性（山ガール）をえびの高原、物産館、京町温泉施設等に集客し、着地型観光に結びつけるものです。

### ⑥平成25年度特別会計 予算関係

○国民健康保険特別会計予算  
36億7078万円で、対前年度  
比2億1421万7千円の増

○後期高齢者医療特別会計予算

6億2520万5千円で、対前年度比419万7千円の増

○介護保険特別会計予算  
保険事業は、27億8226万3千円で、対前年度比6296万3千円の増。介護サービス事業は、2261万6千円で、前年度比226万4千円の増

○観光特別会計予算

3047万9千円で対前年度比143万2千円増となりました。

産業厚生常任委員長

竹中 雪宏



山ガール化で集客増を図りたいえびの高原のミヤマキリシマと韓国岳

## 3月定例会で可決した意見書

### 環太平洋戦略的経済連携協定（T P P）交渉参加に反対する意見書

えびの市は農業が主産業であり、中でも畜産と稲作を主としており、県内でも有数の食料供給基地として、これまで県内は勿論国内の食料自給に大きく貢献してきた。このような中政府は、平成22年11月9日、環太平洋戦略的経済連携協定をめぐり、関係国との協議開始を柱とする「経済連携の基本方針」を閣議決定した。

これを受けえびの市議会は、平成22年11月22日「経済連携の基本方針」を閣議決定したことについて、日本農業と地域社会を崩壊させ農山村が有している多面的機能が損なわれるという観点から、「関税撤廃が原則である環太平洋戦略的経済連携協定の参加は、国内農業への甚大な影響を与えるのみならず、わが国食糧事情をきわめて危険な状況に追い込み、食料安全保障の観点から国の存続を危うくする可能性が高いため、拙速に参加表明しないこと。」という意見書を全会一致で採択し、総理大臣をはじめ関係大臣に送付している。

しかし、本年2月22日行われた日米首脳会談後に、「二国間において貿易上のセンシティブティ（重要品目）が存在することを確認するが、最終的にこれら全ての品目について関税を撤廃することを求められるものではないことを確認する。」という共同声明を発表した。これは関税撤廃対象から除外することを確認したわけではないということを含意し、日本農産品を聖域とすることを保証するものではない。

環太平洋戦略的経済連携協定は、えびの市農業において農業産出額の78.3%を減収させるということが想定されており、全国和牛能力共進会において宮崎県の全国制覇2連覇に大きく貢献した畜産は勿論、稲作、園芸等の全てのえびの市農業に壊滅的な打撃を与えることは容易に想定される。さらに、えびの市をはじめ全国規模での農業分野における生産力が低下することにより、食料自給率の低下を招き食の安全が脅かされることにもなる。又、医療や知的財産等の国民の安心安全な生活や地域経済にも大きな影響を与える危険性を持っている。

よって、国においては専権事項を盾とせず、環太平洋戦略的経済連携協定が国民生活の根幹に関わる重要問題であることを強く認識し、特に国の農林水産業や地域経済を守るため、環太平洋戦略的経済連携協定交渉には参加しないことを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年3月11日

宮崎県えびの市議会

# 6月本格運用開始

## 市議会ネット中継

試行配信のアクセス件数 = 273件



本年3月議会にて試験運用していたインターネットによる市議会（本会議）の生中継がいよいよ6月定例会から本格運用することになりました。

3月議会にて固定カメラの位置や音量を調整するとともに、これらの動画映像が安定的に配信、視聴できるかを試行した結果、問題なく配信され、視聴できることが確認できたものです。

なお、生中継期間中にアクセスした件数（延べ視聴回数）は273件でした。自宅にパソコンがあり、インターネットが繋がっていれば、市のホームページから簡単に無料で議会が視聴できます。

詳しい視聴方法は議会だより1月号の裏表紙に掲載していますので、ぜひご覧ください。

## 6月議会は6月7日開会



3月26日の議会の物産館施設調査

## 4月20日交流物産館オープン

### 完成施設を現地調査

4月20日のグラウンドオープンを前に完成した同施設の現地調査を

3月議会の最終日の26日、閉会后議員全員が現地調査しました。

市畜産農林課の担当者から施設内の物産販売コーナーやレストラン、厨房施設、案内所などのそれぞれの機能や設備、オープンに向けた準備の説明を受けました。

施設本体は鉄骨造り（延べ床面積982.11㎡）ですが、随所に市内で加工された木材が使われており、開放的で明るい雰囲気の交流物産館が完成しました。

施設の落成式も3月30日に開催され、あとはスタッフと商品・サービスが揃うのを待つのみです。

議案・陳情等賛否一覧表

議案番号	議員氏名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	審議結果
		蔵園 晴美	松窪 ミツ工	北園 一正	上原 康雄	池田 孝一	竹中 雪宏	本石 長永	西原 義文	西原 政文	井川原 志庫男	溝辺 一男	高牟禮 宏邦	宮崎 和宏	外園 三千男	栗下 政雄	
議案第 38 号	平成25年度えびの市一般会計予算について	/	○	○	-	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 45 条	えびの市一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例等の一部改正について	/	○	○	-	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 48 号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正(第1号)について	/	○	○	-	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳情第 16 号	えびの市前田小岡丸地区圃場整備事業に関する陳情書	/	●	●	-	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	不採択
議員提出 意見書案第1号	環太平洋戦略的経済連協定(TPP)交渉参加に反対する意見書(案)	/	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 ー：欠席 /：議長は採決に加わりません

議会日誌

12月

- 18日 12月定例会閉会 議会広報常任委員会
- 20日 基地対策調査特別委員会防衛省九州防衛局要望会(福岡)
- 25日 議会広報常任委員会
- 27日 第2回西諸看護学校誘致促進協議会

1月

- 6日 平成25年消防出初式(湯田橋下流)
- 8日 基地対策調査特別委員会
- 9日 議会広報常任委員会
- 10日 政策討論会幹事会
- 11日 宮崎県市議会議長会総会(11日)
- 11日 議会広報常任委員会
- 21日 臨時会
- 22日 政策討論会
- 22日 総務教育常任委員会管内調査(飯野小・中学校)
- 23日 福岡県うきは市議会来庁

- 24日 基地対策調査特別委員会要望会(25日東京)
- 28日 小林市議会来庁
- 29日 えびの市観光協会新年会

2月

- 6日 平成24年度宮崎県市長会研修会(宮崎市)
- 8日 基地対策調査特別委員会
- 12日 南九州中部市議会議長会総会
- 12日 議会広報常任委員会視察研修(高千穂町)
- 13日 三重県桑名市議会来庁
- 19日 静岡県長泉町議会来庁
- 21日 平成24年度教育研究論文表彰式

3月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 九州国際高等学校平成24年度第7期留学生修了式
- 6日 3月定例会開会



平成25年度当初予算には、物産館、道の駅オープンに伴う予算と国の大型補正に伴う緊急経済対策予算が提案されました。これらの予算が安心安全の

暮らしや子育てを実現するために有効に使われるよう見守っていきます。退職をされた職員の皆さんご苦勞様でした。今後も市民の皆さんの良き相談相手として活躍されるようお願いいたします。

議会広報常任委員会委員

西原 政文